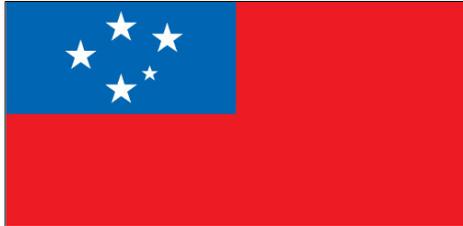


国名(日本語)	<b>サモア独立国</b>
国名(英語)	<b>Independent State of Samoa</b>



国名の由来	サモアは創造神タンガロアの息子モア、またはその化身の鳥に由来し「モア神の地(聖地)」という意味。「サ」はポリネシア語の場所を示す接頭語。
国旗の由来	5つの星は南半球のシンボルである南十字星で、星の白い色は国民の純粹性を象徴している。赤は勇気を、紺は太平洋と自由を表している。旧宗主国のニュージーランドの国旗を参考にデザインされた。
1 面積	2,830平方キロメートル(東京都の約1.3倍)
2 人口	191,800人(2014年 世界銀行)
3 首都	アピア
4 言語	サモア語、英語(共に公用語)
5 宗教	キリスト教(カトリック、メソジスト、モルモン教等)
6 豆知識	日付変更線が近くにより「世界で一番遅く日付が変わる国」「その日を最後に終える国」であることが観光の売りだった。2011年12月31日に時差を変更し、現在は夏時間のみ、世界で最も早く1日が開始される国の一つとなった。